

綾里中学校 授業支援（放射線観察）

日時： 2015年2月12日

場所： 大船渡市立綾里中学校

参加者： 中学3年生 25名、教員1名

単元： 中3「いろいろなエネルギー」

講師： 竹下 陽子（お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師）

実施方法：

本単元では、原子力発電について燃料から発生する放射線への正しい知識を得ることが求められているが、目に見えない放射線の存在を理解するための教材開発は、なかなか困難である。そこで、お茶の水女子大学が、放射線を観察する装置「霧箱」を貸し出し、授業で活用いただいた。

今回の授業は、普通教室での学習の時間を活用して、各班ごとに理科室に移動し、装置を囲って観察を行った。理科室では、お茶大の講師が付き添い、観察しながら放射線の種類や自然放射線について解説を行った。

実施結果：

生徒たちは、観察活動を通して、教科書にある文字や数字のみでは分からない、放射線が通った跡「飛跡」を確認することができた。途中、放射線は体に悪いものなのか、などについて質問があがった。この活動を通して、放射線の種類や特徴をより深く理解することにつながった。

